

1. 語句の訂正

節・項		頁	行	現状	訂正
趣旨			6	第38条の改正	第38条の改正削除
			13	2節要求性能	2節要求性能
			23	JISの改定に	引用された各JISの改定に
本文	9.2a.(3)	16		シーリング材(4.5.a)	シーリング材(*4.5.a)
2節	2.2 c.	27	12	延焼のおそれのない部分で30分間と定められている。	延焼のおそれのない部分 延焼のおそれのある部分以外の部分で30分間と定められている。
	2.4.1(2)()	32	21	パネル重量担当の	パネル重量担当相当の
3節	3.1a.	41	11	負の風荷重1200(N/m ²)	負の風荷重 1200 1600(N/m ²)
4節	4.2a.	55	2	JIS G 3101-1987	JIS G 3101- 1987 1995
9節	9.2a.(3)	129		シーリング材(4.5.a)	シーリング材(*4.5.a)
付3	3.2	174	1	全てワーキングジョイントであり	削除
	1.適用範囲	181	1	陸屋根	陸屋根
付12	5.分別解体	255	2	分別解体構法	分別解体構法 <u>工法</u>
	写真	256	1	分別解体構法	分別解体構法 <u>工法</u>

2. 図表の訂正

4節 本文(P.7) 表 4.1 構法に適したシーリング材の種類

表4.1 構法に適したシーリング材の種類

構 法		耐久性区分				
		7020		8020		9030
		AC-1	PU-1	PU-2	MS-1	MS-2
縦 壁	ロッキング構法					
	スライド構法	縦目地				
		横目地	×			
横壁	横壁ボルト止め構法					

2節 解説(P.27) 解説表 2.1 耐火時間（建築基準法施行令第 107 条）

解説表 2.1 耐火時間（建築基準法施行令第 107 条）

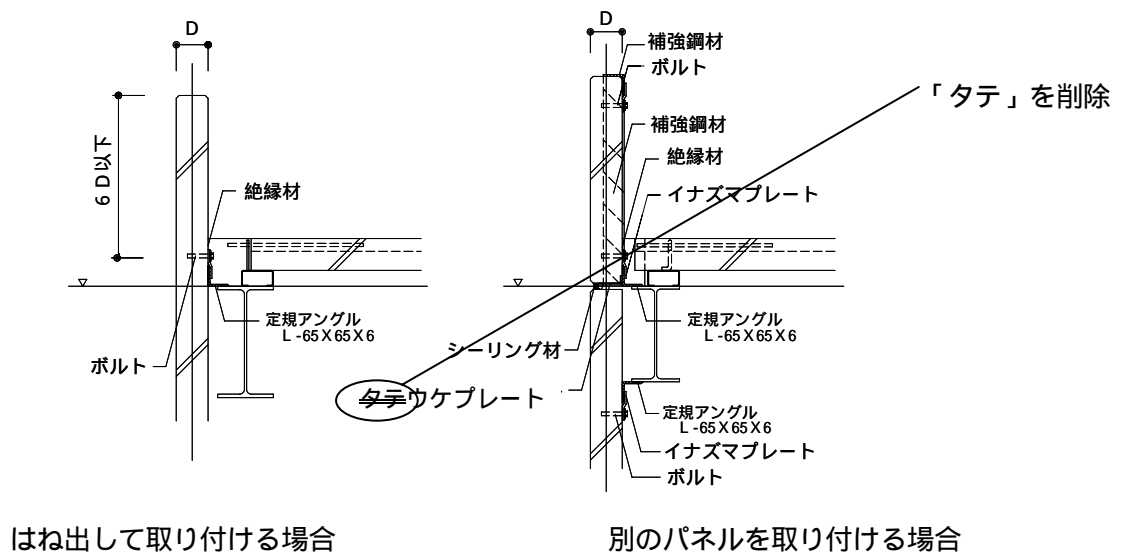
部 位		耐火時間
外 壁 (非耐力)	延焼のおそれなしのある部分	30分 1 時間
	延焼のおそれありのある部分以外の部分	1時間 30 分
間仕切壁 (非耐力)	-	1 時間
屋 根	-	30 分
床	最上階及び最上階から数えた階数が 2 以上で 4 以内の階	1 時間
	最上階から数えた階数が 5 以上の階	2 時間

4節 解説(P.59) 表 4.1 構法に適したシーリング材の種類

表 4.1 構法に適したシーリング材の種類

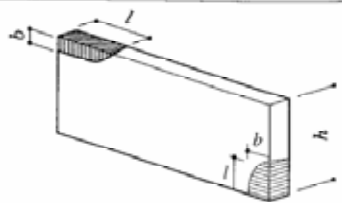
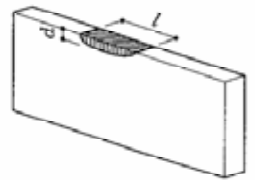
構 法		耐久性区分				
		7020	8020		9030	
		AC-1	PU-1	PU-2	MS-1	MS-2
縦 壁	ロッキング構法					
	スライド構法	縦目地				
		横目地	×			
横壁	横壁ボルト止め構法					

5節 解説(P.68) 解説図 5.4 外壁縦壁のパラペット部取付け例



解説図 5.4 外壁縦壁のパラペット部取付け例

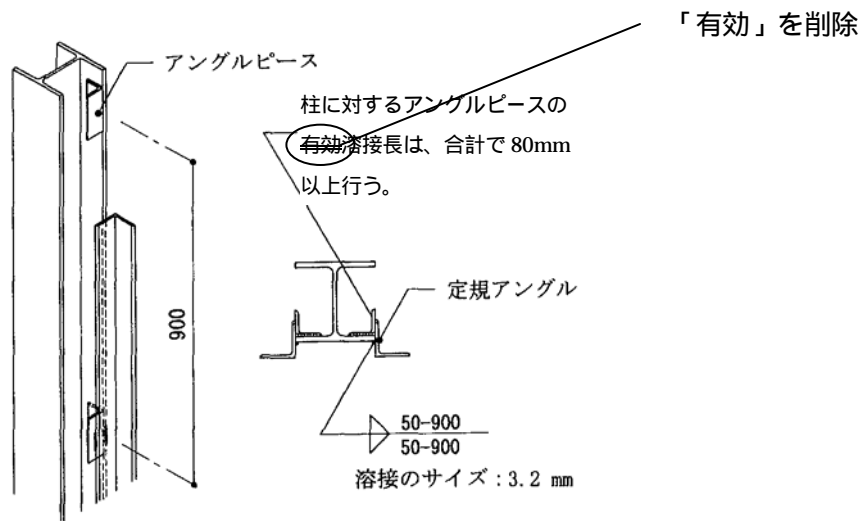
8節 解説(P.125) 解説図 8.2 補修して使用できる欠損部分の大きさの目安

	欠損箇所	大きさの範囲
角欠け		パネル長さ方向の欠け $b \leq 80\text{mm}$ $l \leq 300\text{mm}$ パネル長さ幅方向の欠け $l \leq h/2$ $b \leq 80\text{mm}$
側面の欠け		$d \leq 40\text{mm}$ $l \leq 300\text{mm}$

* 斜線は欠損部分を表す.

解説図 8.2 補修して使用できる欠損部分の大きさの目安

付 3. 解説図 2.2



解説図 2.2 定規アングル溶接標準

付 5. ALC 耐火構造の例示仕様

部 位	厚さ (mm)	性能 (時間)	公告年月日番号	旧公告年月日番号	備 考
屋 根		0.5	H12.5.30 第1399号	S39.7.10 第1675号	
壁	75以上 ^{*1}	2	H12.5.30 第1399号	S39.7.10 第1675号	壁:外壁及び間仕切壁をいう。非耐力壁の令第107条第二号・三号による要求性能は1時間。

付 12. (11)エキスパンションジョイントカバーの取付け

「止水帯・耐火帯」と表記されていたものを、「補助シート」と「耐火帯」に訂正.

